

京都の未来像と検討すべき取組方策（案）

地域主権時代のモデル都市 ～京都発、京都流～

- 京都らしさ、独自性
- 将来大きく育つコンセプト
- 制度や分野の枠にとられない

(京都発) 国内外への新たなモデルの提示  
 (京都流) 一律的な基準でない京都スタンダードによる豊かさの追求

テーマ（ねがい）

いのち  
を大切に  
する

ひと  
を育て、ま  
ちを元  
気に  
する

環 境  
への高  
い志を  
共有  
する

知 恵  
を活か  
し、活  
力を高  
める

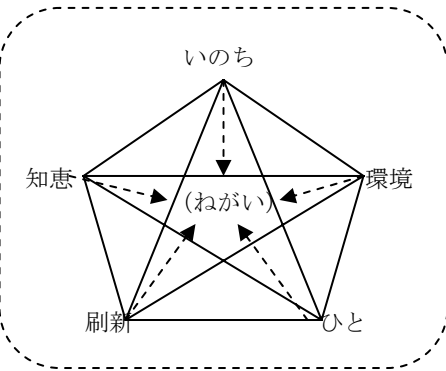
刷 新  
し、市  
役所  
を  
変  
え  
る

生活・地域のビジョン

- 生活者が主役
- 人や場のつながりが豊か

都市のビジョン

- 世界に誇れる
- ソフトパワーがみなぎる



少子高齢化時代のモデル都市になる

～子どもに笑顔、若者に夢、お年寄りに安心と生きがい～

- 子どもの笑顔と安心な暮らしを地域力が支える
- 若者がいきいきと京都で学び、京都で働く
- 互いに教えあい、学びあい、人生を楽しむ

地域の抱える力を高める ～ソーシャルキャピタル倍増～

- だれにも人のつながりと居場所がある
- 地域の未来を地域が決める、自ら運営する

環境先進都市になる

～環境を基軸に京都型の経済・生活スタイルの開発～

- まちのどこにも市民が誇れる魅力が溢れる
- 公共交通が便利で、散歩や自転車が似合う
- 地球環境への危機感を市民が共有し、立ち向かう

京都の強みを生かして都市の活力を高める

～文化力を磨き、多面的に活用～

- 高い文化力が新たな価値を世界に発信する
- 観光と交流がチャレンジを育む

取組方策（例）

■ 「子ども」に焦点を絞った京都らしい（保全・再生・創造の）横断的な施策展開

■ 単身社会におけるつながりづくり（コミュニティやネットワーク、「一人にしない」まちづくり）

- 新基準町家街プロジェクト
- 人口縮小停滞期における都市構造・土地利用の誘導施策のモデル的实施
- 京都の技術やネットワークを活かした環境ビジネスの創出
- 低炭素社会への総合的戦略（民生部門と運輸部門での需要対策と新エネルギーの供給対策）

- 現代アートの拠点としての京都づくり
- ビジターズ・インダストリーの創出

「次期京都市基本計画策定支援チーム 取組方策メニュー」

生活・地域部会

進行役 秋月副座長

ユニットA

- 乾委員
- 大山委員
- 岡本委員
- 金武委員

ユニットB

- 神吉委員
- 空閑委員
- 辻田委員
- 平井委員
- 松中委員

都市部会

進行役 リム委員

ユニットC

- 大山委員
- 神吉委員
- 空閑委員
- 平井委員
- 松中委員

ユニットD

- 乾委員
- 岡本委員
- 金武委員
- 辻田委員

市政運営 刷新

\* ビジョンの共通の土台とし、市政改革懇談会の議論等を取り入れる

※ ユニットの構成は、検討するテーマに応じて柔軟に編成することを想定している。上記は「取組方策（例）」に対応した場合の一例である。